

男女共同参画ニュースレター

研修会の実施について

男女共同参画推進委員会では、2021 年度に男女共同参画社会の推進に向けた取り組みとして研修会を実施いたしました。

【テーマ】ワーク・ライフ・バランスについて

—年代による変化等—

【日時】令和 3 年 8 月 30 日（月）13:30~14:30

【講師】公益財団法人 21 世紀職業財団 客員講師

土井 文子 氏

【会場】附属特別支援学校 特別棟 2 階講義室

【参加者数】42 名（役員 3 名、大学教員 5 名、附属学校教員 29 名、事務系職員 5 名）



研修会では、昨年度に続き土井文子さんを講師にお迎えして、人生の様々な段階におけるワーク・ライフ・バランスについてわかりやすくお話いただきました。特に、育児と比べて、介護や病気はある日突然起こることが多く、職場での把握も難しいことから、ひとりで不安や悩み・動揺を抱えているケースが多いことを、データを示しながら説明いただきました。そして、介護や治療と仕事の両立のためには、万一の時にどうするかを日頃から考えておくことや、組織の相談しやすい雰囲気づくりの大切さを提起されました。また、人生の段階や個人の事情によってバランスの形は多様であり、自ら希望するバランスを決めることができるのと同時に、そのバランスは一人一人違うということを受け入れる重要性を、ワークを通して共有しました。



参加者からは、個々のワーク・ライフ・バランスの違いをどのように認め合えるか、お互いに想像力をふくらませて理解し合うことの大切さや難しさについても感想が寄せられました。また、伝えやすい環境やシステム作りを求める声もありました。

国立大学法人京都教育大学行動計画について

「国立大学法人京都教育大学行動計画（次世代育成支援・女性活躍推進）」（計画期間：令和4年4月1日～令和8年3月31日）を下記のとおり策定しましたので、お知らせします。

全ての教職員が、家庭と仕事の両立を図り、また、女性が、職業生活において、その希望に応じて十分に能力を発揮し、活躍できる労働条件や労働環境の整備するため、次のように行動計画を策定します。

1. 計画期間：令和4年4月1日～令和8年3月31日（4年間）

2. 目標と取組内容・実施時期

目標1：管理職に占める女性比率18%以上を確保する

＜取組内容＞ 実施時期：令和4年4月～

・男女共同参画についての理解を深め、キャリアアップに関する意識形成を行うとともに、育児や介護を行う教職員が男女ともに就業を継続し、活躍できるようにするため、研修（育児や介護をしながら働き続けるキャリアイメージの形成等）を実施する。

目標2：仕事と家庭を両立することができる働きやすい職場環境を引き続き整備する

＜取組内容＞ 実施時期：令和4年4月～

・教職員の出産・育児や介護を支援するため、出産・育児や介護に関する休暇・休業・給付制度の周知を積極的に行うとともに、制度を利用しやすい職場作りを推進する。
・育児・介護休業中の者に対し、復帰後の担当業務についての情報提供や相談ができる体制を整え、復帰後の業務分担についても配慮したものとする。
・教職員レクリエーション行事については、子どもを含めた家族全員が参加できる行事を計画・実施する。

目標3：年次有給休暇の取得率を40%以上とする

＜取組内容＞ 実施時期：令和4年4月～

・年次有給休暇取得率の低い職種に対しては、計画的な休暇の取得を促進するための通知を行う。
・業務の効率化・合理化を促進し、休暇を取得しやすい職場作りを推進する。

目標4：男女共同参画推進の取り組みに学生の参加を促す

＜取組内容＞ 実施時期：令和4年4月～

・学生の男女共同参画に対する意識啓発を行うため、研修へ学生の参加を促す。

京都教育大学 男女共同参画推進委員会

（担当：総務・企画課）